

2025年度Space Designer検定試験のテーマを発表
「エレガントにまとめる、都市型ホテルのスイートルーム」

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（以下ACSP）（東京都港区赤坂、代表理事 富田 伸一郎）は、2025年度Space Designer（スペースデザイナー）検定試験のテーマを、「エレガントにまとめる、都市型ホテルのスイートルーム」に決定したことを発表しました。

本試験は、国内唯一の「ソフトウェアによる室内空間の3Dパース画とデザイン提案書作成スキルの育成」を目的とした、課題提出方式の試験です。毎年異なる課題テーマと設計図面を出題し、ソフトウェアを使った正確な3Dパース画作成と、テーマに合った、文章や背景、イラストを取り入れた提案書作成の能力を評価します。さらに、Expert合格者の中から優秀な作品を、金・銀・銅賞として表彰しています。

今回のテーマ「エレガントにまとめる、都市型ホテルのスイートルーム」では、インバウンド需要で注目されているホテルのスイートルームを題材とし、エレガントでぜいたくな空間を演出する提案が求められます。また、「都市型ホテル」と環境を限定したことで、窓の向こうに広がるランドマークや街並みなどのパノラマ風景の表現も求められます。

なお、前年度（2024年度）のテーマは「ウェルビーイングを意識したコワーキングスペースのラウンジ」で、受賞作品を公式Webで公開しています。

<https://www.acsp.jp/sd/sakuhin.html>

【Space Designer検定試験について】(<https://www.acsp.jp/sd/>)

試験方式：課題提出方式

評価方法：評価委員がすべてのパース画および提案書を「評価基準」に基づき総合的にチェックし判定

合格基準：Space Designer Expert 基礎課題の総合評価で70点以上、応用課題の総合評価80点以上

Space Designer Standard 基礎課題の総合評価で70点以上

受験対象者：建築物の内装を設計するのに必要な知識（製図、インテリア）と技能（ソフトウェアを利用したCGパース作成）・空間デザインの表現力を学習している学生、住宅建築・リフォーム関連企業の社員、同企業への転職を希望する社会人

2025年度試験申込期間：2025年11月4日（火）～2026年1月16日（金）

2025年度試験期間：2025年1月26日（月）～2月5日（木）

※基礎課題は1月30日（金）10：00まで、応用課題は2月5日（木）10：00までに提出

【一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）について】(<https://www.acsp.jp/>)

ACSPは、「CAD利用技術者試験」や「BIM利用技術者試験」「3Dプリンター活用技術検定試験」を主催・運営する非営利法人です。検定を通し、「ITを活用したものづくり人材」と「生き生きと楽しみながら働き、社会で活躍できる人材」の輩出に努めています。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP） 担当：佐藤 / 原田

Email：sd_cs@acsp.jp